

平成27年12月10日

青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡保存活用推進室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1

TEL (017) 734-9924

FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡縄文時遊館

〒038-0031 青森市三内字丸山305

TEL (017) 781-6078

FAX (017) 781-6103

URL <http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

三内丸山通信

発見！溝状遺構の北東端！

発掘調査が九月十八日で終了しました。今年度は、大型の溝状遺構の全容や用途を明らかにするために調査を行いました。

この大型の溝状遺構は、昨年度の調査で、北東から南西方向に約二十四メートル延長する直線状の遺構であることや底面が北東方向へ下がりながら緩やかに傾斜していることなどがわかっていました。また、水が流れた痕跡がないこと、堅穴建物跡にともなう付属施設（いりりの跡や柱の

穴など）がないことから使われ方はわかっていませんでした。つくられた時期は、縄文時代前期末葉頃（約五千年前）と考えられています。

今年度は、この溝状遺構の北東側の調査を行いました。その結果、溝状遺構の端が発見され、現段階では、短軸約三・四メートル、長軸約二十五メートルの直線状の遺構であることがわかりました。集落の周りを囲む環濠（かんごう）は縄文時代中期末葉頃（約四千年前）に北海道で数例見られま

すが、今回確認された溝状遺構のような直線状に延びる大規模な形態のものはこれまで確認されていません。

また、縄文時代中期前葉（約四千八百年前）の堅穴建物跡（七九七・七九八号堅穴建物跡）に壊されており、前期末葉につくられたものという昨年度の調査所見と矛盾しないこともわかりました。これまでに確認された縄文時代の大型の溝状遺構では、最古の可能性があります。ただ、いまだに使われ方は不明なため、今後、出土した遺物や堆積していた土の状況などを検討し、明らかにしていく予定です。

また、今年度の調査で確認された堅穴建物跡（七九七号堅穴建物跡）は、炭化材や焼土が多量に出土したため、焼失した建物であったと考えられます。このような事例は、三内丸山遺跡ではこの建物を含めてまだ二例しか確認されていないため、こちらも非常に注目されます。



【溝状遺構全景（点線内が溝状遺構）】

遺跡見学者 七百五十万人 達成！

平成二十七年十月五日、三内丸山遺跡の見学者が七百五十万人に達しました。平成六年八月に一般公開を始めてから二十一年目での達成です。この記念すべき七百五十万人目の見学者、茨城県取手市からお越しの小野塚進さんに記念証とオリジナルグッズなどの記念品を贈呈しました。小野塚さんは、「大変うれしい。人生で一番かもしれない。またぜひ来たい。」と話していました。

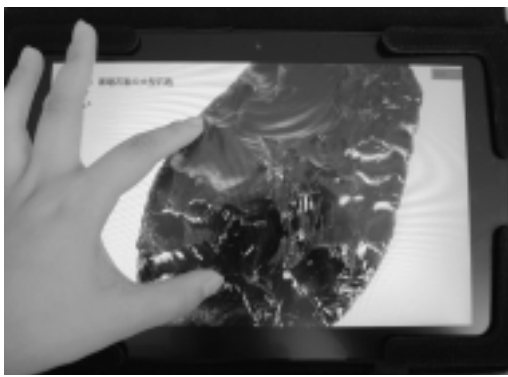


【750万人達成記念撮影】

企画展「円筒土器文化を探る」

三内丸山遺跡では、平成24年度から3か年にわたって円筒土器が出土した遺跡のデータベースを作成しました。縄文時代前期中頃から中期中頃にかけての円筒土器文化の広がりや集落の移り変わりが、このデータベースを通じた研究でわかってきました。今回の企画展では、その成果を図や遺物を交えてわかりやすく紹介しています。平成28年3月6日までの開催です。ぜひお越しください。





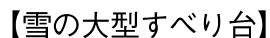
九月十八日から、タブレット端末を使用するITガイドで新たな遺跡を楽しめます。遺跡ではポイントに着くと、タブレット端末に縄文人が堅穴^{たてあな}住居^{じゅうきょ}をつくっていたり、食料を倉庫に貯蔵していたりする風景がバーチャル・リアリティ（VR）で映し出されます。また、普段見るこ^おとが^おできない大型掘立柱建^{おほがたはつたて}物と同じ高さからの景色も見られます。



さんまるミュージアムでは、おもな出土品の詳しい解説を音声ガイドで聞いたり、画面にタッチして、いろいろな角度から大型板状土偶や縄文ポシェットを観察したりすることができます。

実際に使った見学者の方からは、「縄文時代のようすが手に取るようにわかり、とてもよかった」、「解説がわかりやすく、堅苦しい感じではないので興味がわいた。画面上

2月13・14日に縄文冬祭りを開催します。青森市で一番長いともいわれる雪でつくった大型すべり台をそりで疾走してみたり、雪だるま広場では、思い思いの個性的な雪だるまをつくったりすることができます。ほかにも宝さがし、クイズラリーなどの楽しいイベントを準備していますので、ぜひご来場ください。



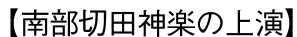
(トップページのお知らせ
→IT ガイドスタートから
申込み書をダウンロード
できます。)



pref.aomori.jp/

お問い合わせ・申込み先

TEL 017-781-6078



休館日	見学科料
12月30日～1月1日	無料

10月～5月は9時～17時 6月～9月は9時～18時
(入場は閉館の30分前まで)

10時30分～、13時30分～の2回行っています
(所要時間：約20分)

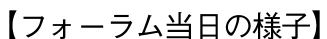
1 回目は 9 時 15 分から
 その後は 10 時から 1 時間ごと、最後は 16 時から
 (所要時間：約 50 分、10 月～3 月は最終出発が 15 時 30 分)
 見学のお問い合わせ先：017-766-8282 (三内丸山応援隊)

☐青森市営バス
 　ＪＲ青森駅から⑥番乗り場　三内丸山遺跡線
 　三内丸山遺跡前で下車　料金310円　約30～40分
☐ねぶたん号
 　ＪＲ新青森駅東口③番乗り場
 　三内丸山遺跡前で下車　料金200円　約15分

繩文遺跡群世界遺産登録推

「フェスティバル」と、世界文化遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」を応援する「世界遺産劇場」コンサートが開催されました。

二日間でのべ一万人以上の方が三内丸山遺跡を訪れ、様々な舞や調べ、コンサートを楽しんでいました。



推進会議の岡田康博座長から、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が持つ世界遺産にふさわしい価値や登録への課題などについて報告したほか、三内丸山遺跡をはじめとする県内五遺跡から発見された土器、石器、土偶約二百点を展示し、専門職員による解説を行いました。

ITガイド導入！

たくさんイベントを開催しました！